

令和 5 年度

幼稚園だより 2月号

文京区立小日向台町幼稚園

表現する楽しさ・伝わる喜び

園長 小岩井 聡

大寒を過ぎ、寒さも本格的になってきました。園庭の隅の日陰は凍えるような日が多くなりました。天気予報でいう「今年一番の寒波」が、もう何度もやってきているような気がします。

しかしながら、さすが「小日向台町」の名の通り、日中は、園庭の多くに陽が当たり、穏やかな陽だまりの中では、子どもたちがお家ごっこや鬼ごっこをして遊んでいます。

そんな暖かな園庭に、先日、大きな自動販売機が出現しました。「??」としてみると、年中組の劇遊びで使っているものでした。

葉っぱを入れて好きなものを言うと、それが出てくる不思議な自動販売機のお話でした。劇遊びに使っていたものをテラスに出して、お話のイメージのまま楽しんでいました。

「先生も葉っぱを入れてみようかな?」と言うと、自動販売機の中の子から「今はダメ」の返事。どうやら、出てくるものが、みんな売れてしまっていたようです。けれども、しばらく見てみると、「お待ちせ!」と友達が、買っていったものを戻しに来ました。繰り返し、表現遊びを楽しむための子どもたちのルールがちゃんとあるようです。

劇遊びは、役になり切って、表現して遊ぶ楽しさがあって、初めて成り立つものです。いくなればごっこ遊びの延長です。もちろん、年齢によっては、観られる緊張感や恥ずかしさ、自分の役の責任であったり、ストーリーから外れないルールであったりも考えます。それが劇という形で出来上がっていきます。

年長組は幼稚園生活の総仕上げとして、自分たちでアイデアを出し合い、セリフを考え、衣装を考え、学級で取り組んでいます。

年中組は、ごっこ遊びをグレードアップさせて、みんなでなり切ることを楽しんでいます。(だからこそ、先ほどのように、遊びの中でも繰り返されます)

年少組は、自分が変身していることを喜びながら、先生と一緒にお話の世界で動くことを楽しみます。中にはお話の世界を抜け出て楽しんでいる子もいます。(この前は何を話しかけても「チュ〜」としか返事をしてくれないたんぽぽ組さんもありました。)

さあ、2月3日は年長組・年中組の、14日は年少組の子ども会。年長組は、修了前の集大成として、年中さんは、年長組になることへの自信となるような、そして、年少組は、みんなで遊ぶ楽しさや先生とのつながりをより感じられるような、素敵な子ども会をご覧いただけることと思います。

どうぞ、当日、楽しみにお越しください。そして、子どもたちの頑張りを感じていただけたら、たくさんの拍手と笑顔で包んであげていただきたいと思います。

園庭の梅も、子どもたちの頑張りを応援してくれているようです。

